

特集1 新指導要領全面実施に向けて

今年度の『情報おきたま』は、教育課程編成にむけた準備について情報提供をしています。小学校は、いよいよ目前に新学習指導要領全面実施が迫っています。今回は、小学校の生活科、図画工作科、指導要録の改善を取り上げ、留意したい点についてお知らせします。

File No.5 年間指導計画を見直す(小学校)

(1) 生活科

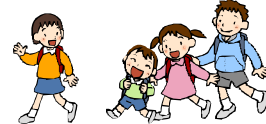
幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図るうえで生活科は大きな役割を果たしています。山形県は、「幼保小連携スタートプログラム」を作成しました。1年生の特に1学期に、生活科を核とした総合的な学習を取り入れるなど、小学校の生活や学習に楽しく適応させていく必要があります。「生活や出来事の交流」が新たな内容として位置づけられたことも踏まえて、年間指導計画を見直していく必要があります。



来年度に向けて再チェック！

「年間指導計画」を、以下の視点で見直している。

- ・「2年間で育てたい力」を見通す
- ・幼児教育との接続を意識する
- ・特別活動との区別を明確にする
- ・「九つの内容」をバランスよく位置付ける
- ・他教科、道徳等との関連(合科を含む)を図る



(2) 図画工作科

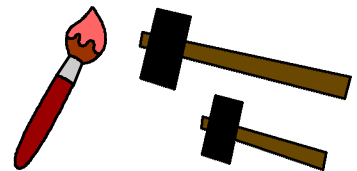
児童の力を十分発揮させるには、どんな材料や道具を用いるかが重要になります。他教科と同じように材料と道具の整備についても計画的に行いたいものです。

また、粘土の焼成に関して質問を受けることがあります。版画と同じように学校の実情に応じて取り組んでいきたいものです。焼成は、表現の幅を広げるために、教科書編集上配慮された部分です。教科書の教材研究も十分行いたいものです。



来年度に向けて再チェック！

材料や用具を計画的に整備し、共通事項を確認している。



File No.6 指導要録の改善(小学校)

様式例等が国や県から示され、指導要録の改善が話題となっています。詳しくは、市町教育委員会から示されるものをご確認ください。なお、新しい「児童指導要録取扱いの手引き」は、今年度中に示される予定です。

また、評価の観点も、次のように改められました。これから通知表の作成などの際には、表記だけでなく、各観点の趣旨にも改めて留意したいものです。

	(現行)	(新)
<社会科>	社会的な思考・判断 観察・資料活用の技能・表現	社会的な思考・判断・表現 観察・資料活用の技能
<算数科>	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての技能
<理科>	科学的な思考 観察・実験の技能・表現	科学的な思考・表現 観察・実験の技能
<音楽科>	音楽的な感受や表現の工夫 表現の技能	音楽表現の創意工夫 音楽表現の技能

注意したいのは、「特別活動の記録」です。各学校が自ら定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入することとなります。そのため、評価規準と評価計画の入った全体計画や各活動・学校行事の年間指導計画が必要となります。詳細は、毎年夏に行われる教育課程研究協議会での資料を参考にしてください。

今回は、いじめ・不登校発生予防について特集します。